

「幼児期の学びをつなぎ、気付きの質を高める生活科の

生活科は、具体的な活動や体験を通して学ぶことを基本としているところに特色があります。一方で、「活動あって学びなし」との批判があるように、具体的な活動を通して、どのような思考力等が発揮されるかを十分に検討する必要があります。中丹プロジェクト2Ⅰ生活科では、児童の思いや願いを大切にしながら、活動や体験を通して気付きを確かなものにしようと、「気付きの質を高める生活科の授業」を目指し、研究を深めました。また、生活科は幼児期の学びが発揮される教科でもあることから、幼児期の経験を踏まえて学習を進めてきました。その実践から、生活科の授業改善のポイントを紹介します。

思いや願いを引き出し、気付きの質を高める授業改善のポイント

生活科の学習過程

※①～④の順序が入れ替わることもあります。

- ①思いや願いを持つ
- ②活動や体験をする
- ③感じる・考える
- ④伝え合う・振り返る



「活動あって学びなし」にならないよう、①～④の学習過程を大切にしましょう。

Ⅰ 学習の原動力になる児童の思いや願いを引き出す

「思いや願い」は学習の原動力になります。思いや願いを引き出すことで、児童はその実現に向けて思考し、主体的に学習に向かうようになります。

児童の意欲や主体性を高める学習活動から、思いや願いを引き出す。

2年「ぐんぐんそだて わたしの野菜」の実践から

〈児童の意欲や主体性を高める学習活動〉 みんなで野菜を育てて食べよう

※教師が設定しても、児童と教師で一緒に設定してもよい。

〈思いや願いを引き出すために〉

教師「どんな野菜を食べたい？」→児童「あまい野菜を育てて食べたい」「おいしい野菜を育てて食べたい」
 「大きい野菜を作って食べたい」「自分が好きな野菜を育てて食べたい」
 教師「(思いや願いの) 野菜を育てるには、どんな世話がいのかな？」
 →児童「図鑑で調べてみたい」「友達はどうかのかな」「地域の野菜名人にも聞いてみたい」

児童の思いや願い

Ⅱ 多様な学習活動と教師の働きかけで気付きの質を高める

生活科の学習では、児童に気付きが生まれる多様な学習活動を設定することが大切です。さらに、教師は一人一人の活動の様子から思考を見取り、適切に働きかけ、児童の気付きを深めて新たな気付きにつなげていきます。

学習活動	気付きの質を高める視点(例)
見付ける	・同じ性質や変化を見付ける。 ・異なる特徴や違い、共通点を見付ける。
比べる	・過去の自分、過去や周りのことと比べる。 ・比べて、予想したり予測したりする。 ・比べたり分類したりする。
たどる	・体験したことや知っていることと関連付けて考える。 ・体験したことをこれまでの体験につなげて表現する。
試す	・条件を変えて試す。・予想したことを試す。 ・できるようになったことなどを使いながら試す。
見通す	・結果を予測したり、先を見通したりする。
工夫する	・様々な方法を工夫して、試してみる。

〈気付きの質を高める教師の働きかけ〉



児童に何を気付かせたいのか意図を持って問いかけ、児童の思いや考えを深めることが重要です。

比べさせる…前はどうかだった？～だったらどう？
 詳しく聞く…どんなふうに？どれくらい？
 思いを聞く…どうしたい？ 何かできそう？
 わけを聞く…どうして～したの？
 協働を促す…〇〇さんに聞いてみたら？

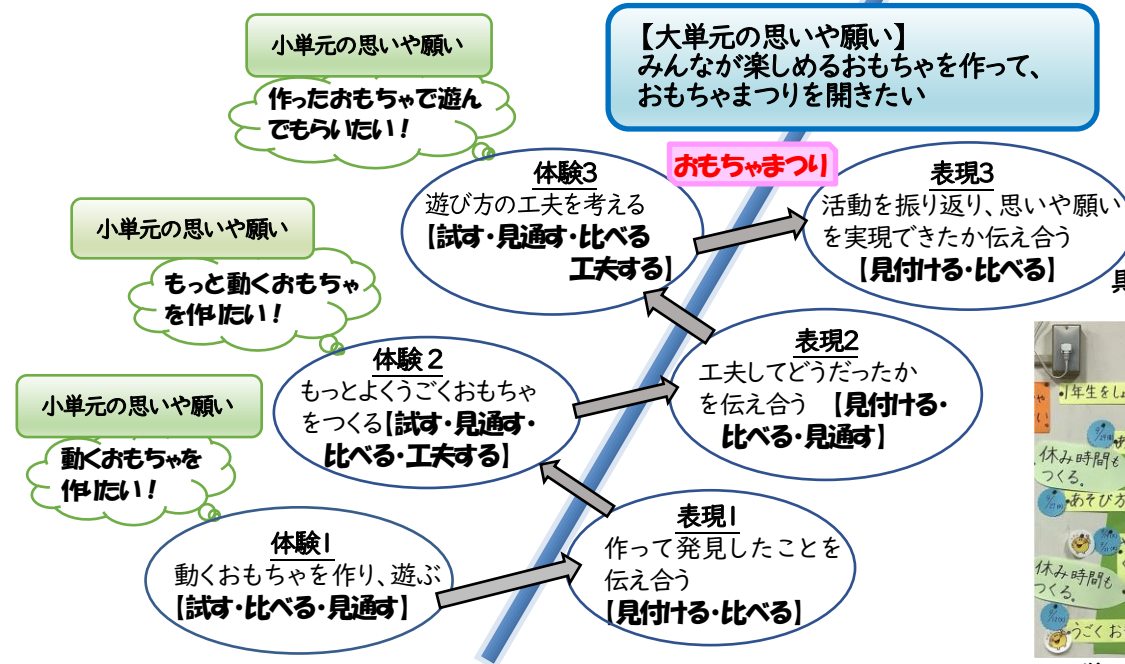
授業」を目指して ～ 中丹プロジェクト2Ⅰ生活科の実践より ～

Ⅲ 「体験活動」と「表現活動」を繰り返し、思いや願いを実現させる

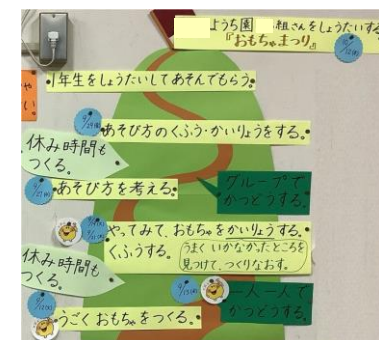
「体験活動」と「表現活動」を連続させることで、無自覚だった学びが自覚化され、気付きの質を高めていくことができます。「体験活動」で終わらず学びの自覚化が求められているところは、幼児期の遊びを通した学びとの違いです。

2年「うごく うごく わたしのおもちゃ」の実践から

気付きの質 資質・能力 UP



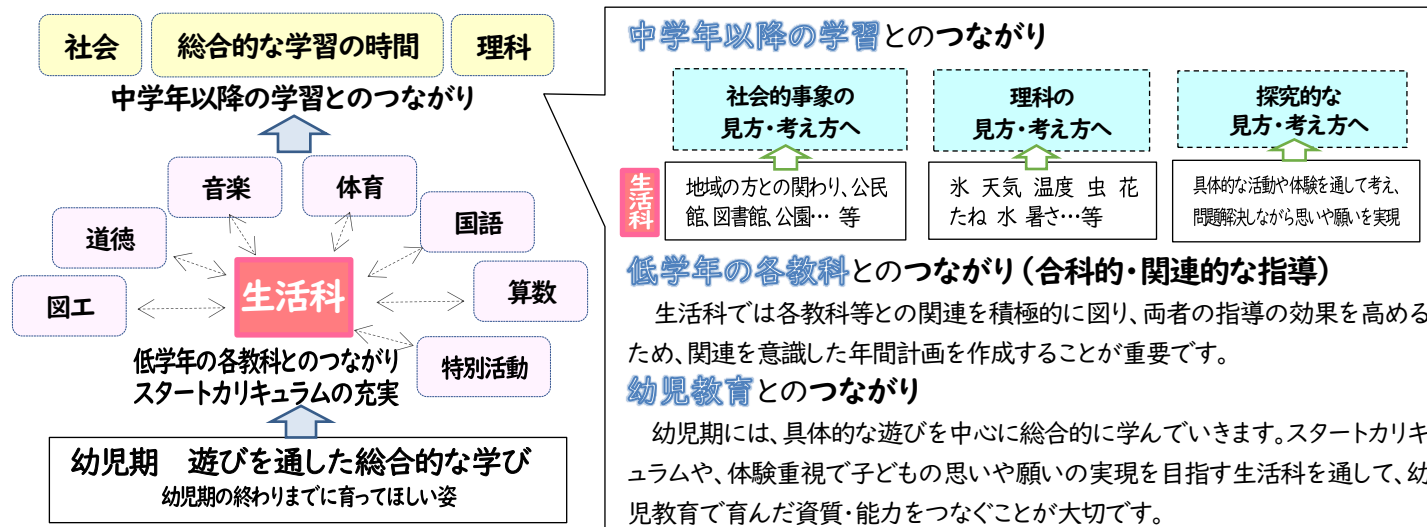
具体的な活動内容を示した板書例



単元を見通すための掲示物

幼児教育や他教科、中学年以降の学習とのつながり

生活科は、幼児教育とのつながりや小学校低学年における各教科等の学習との関わり、また中学年以降の学習とのつながりもある教科です。それぞれどのようなつながりがあるのかを把握しておくことで、指導が充実していきます。



中丹プロジェクト2Ⅰ生活科で大切にしてきた「気付きの質を高め、子どもの思いや願いの実現に向けて取り組む授業づくり」を通して、生き生きと活動する姿、友達と熱心に話し合う姿、試行錯誤を繰り返す姿が見られました。「学習対象への興味・関心を高め、子どもの主体性を引き出す」という授業づくりの視点は、低学年の各教科、中学年以降の学習にもつながります。ぜひ、本プロジェクトの実践をヒントにしてください。